

## 32. 重症急性膵炎

### 1 急性膵炎の診断基準

上腹部に急性腹痛発作と圧痛がある

血中または尿中に膵酵素の上昇がある

超音波、CT または MRI で膵に急性膵炎に伴う異常所見がある

上記 3 項目中 2 項目以上を満たし、他の膵疾患および急性腹症を除外したものを急性膵炎とする。ただし、慢性膵炎の急性増悪は急性膵炎に含める。

注：膵酵素は膵特異性の高いもの（膵アミラーゼ、リパーゼなど）を測定することが望ましい

### 2 重症度判定基準

#### A. 予後因子

原則として発症後 4 8 時間以内に判定することとし、以下の各項目を各 1 点として合計したものを予後因子の点数とする。

1. Base excess  $-3\text{mEq/l}$ 、またはショック（収縮期血圧  $80\text{mmHg}$ ）
2.  $\text{PaO}_2$   $60\text{mm Hg}$  (room air)、または呼吸不全（人工呼吸器管理を必要とするもの）
3. BUN  $40\text{mg/dl}$ （もしくは Cr  $2\text{mg/dl}$ ）、または乏尿（輸液後も 1 日尿量が  $400\text{ml}$  以下であるもの）
4. LDH が基準値上限の 2 倍以上
5. 血小板数  $10$  万  $/\text{mm}^3$
6. 総 Ca 値  $7.5$   $\text{mg/dl}$
7. CRP  $15\text{mg/dl}$
8. SIRS 診断基準における陽性項目数 3

SIRS 診断基準項目：

- ( 1 ) 体温  $> 38$  または  $< 36$
  - ( 2 ) 脈拍  $> 90$  回/分
  - ( 3 ) 呼吸数  $> 20$  回/分または  $\text{PaCO}_2 < 32$   $\text{mm Hg}$
  - ( 4 ) 白血球数  $> 12,000$   $/\text{mm}^3$  もしくは  $< 4,000$   $/\text{mm}^3$ 、または 10%超の幼若球の出現
9. 年齢 70 歳

#### B. 造影 CT Grade

原則として発症後 4 8 時間以内に判定することとし、炎症の膵外進展度と、膵の造影不良域のスコアが、合計 1 点以下を Grade 1、2 点を Grade 2、3 点以上を Grade 3 とする。

炎症の膵外進展度

前腎傍腔：0点

結腸間膜根部：1点

腎下極以遠：2点

膵の造影不良域

膵を便宜的に3つの区域（膵頭部、膵体部、膵尾部）に分け、

- ・各区域に限局している場合、または膵の周辺のみの場合：0点
- ・2つの区域にかかる場合：1点
- ・2つの区域全体をしめる、またはそれ以上の場合：2点

**C. 予後因子が3点以上または造影CT Grade 2以上のものを重症とする**

[ 特定疾患治療研究事業の対象範囲 ]

急性膵炎のうち、重症の者を特定疾患治療研究事業の対象とする。